

## 2020 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	孫占坤 (ソンセンコン)
演習テーマ	国家・民族の国際関係学
内容と卒業論文の指導方針	民族紛争、地域紛争関連の文献を講読し、履修者各自に卒論のテーマを設定していただく。卒論の完成に向け、ゼミでの各種の発表・議論、教員とのマンツーマンの個別指導等を通して、レベルの高い卒論の提出を目指す。
メール・アドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜昼。まずメールをください。時間帯について柔軟に対応する。
授業概要	演習 1、演習 2A、演習 2B の勉強の集大成として、各履修者にテーマを設定してもらい、卒業論文を完成していただく。テーマの選択は自由だが、このゼミで担当教員が指導可能なテーマは、民族・地域紛争関連のものです。ゼミ入り（移籍）に当たって、この点を十分留意すること。
学習目標	卒業論文の仕上げを通じ、テーマの発見・設定能力、参考文献の読みこなす能力、更に、テーマについて論理的に説明し、組み立て行くという論証力を身につけていただくことを学習目標とする。
授業計画	詳細は新年度向けの「シラバス」を参照していただきたいが、年間計画の大枠として次のように考えている。 春学期：卒論「構想」発表、「文献紹介」発表、「論文の書き方」についての説明、共通文献の輪読・発表等 秋学期：卒論「構造」発表、「文献紹介」発表、「引用の仕方・註の付け方」の説明、共通文献の輪読・発表、卒論のマンツーマン指導等
予習	報告内容や報告の仕方等についての事前学習が不可欠。
復習	授業で出た問題点について更なる学習が求められる。
授業に関する注意事項	就職活動等の理由でゼミ出席困難の人に、このゼミはお勧めできない。
教科書	斉藤 孝・西岡達裕『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部。
参考書	アヴィ・シュライム『鉄の壁 (上) (下)』緑風出版。 阿部 俊哉『パレスチナ—紛争と最終的地位問題の歴史』ミネルヴァ書房。
成績評価の基準	授業への参加：50%、レポート：50%。
関連 URL	
備考	このゼミに移籍する場合、4 年次の卒論を意識した「ゼミ論」として、7000 字程の論文（注釈・参考文献含）の提出が求められる。提出日：2020 年 1 月 31 日（金）時正午。